

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上111%、宿泊人数121%、宿泊単価111%である。大型団体客の受注に加え、個人客も前年並みを確保できている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・2月は近年にない大雪になり、交通機関が乱れ、タクシーは大変忙しかった。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・2月は雪の影響もあり来客数が減るとみていたが、売上の的にはそれなりに推移している。雪の影響が重ならない日に来店してもらえたようである。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・前月から来客数が伸びている。遠方からの客を始め、新規客も多くなっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・競合店が最近リニューアルしているが、当店の売上ベースが下がっていない。1回の来店で購入点数も増加傾向がみられる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・天候も良くなり、大きな動きではないものの売上が伸びている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・2月の販売量は前年同月比95%の見込みである。3か月前の実績が前年同月比91%であったので、3か月前との比較でやや上向きである。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	販売量の動き	・数十年ぶりの大雪に見舞われ、各店舗共に大きく数値を落としている。特に、セレモニー需要や新生活需要に期待した衣料と住まいの品において大苦戦となっている。食料品は一時的に入荷が途絶えて品薄状態になったものの、長期保存食品を中心に特需があった。天候回復に合わせて食料品は通常以上に需要回復している。
		通信会社（職員）	来客数の動き	・2月から年度末に向けキャンペーンを展開している。大雪の後は来客数が伸びている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・大雪によって一定期間セールスに影響が出たにもかかわらず、客からの問合せや契約数が、放送と通信共に増加している。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・毎年この時期は他社への乗換えが活発になる時期であり、ちょうど更新月を迎える客や、逆に他社へ乗り換える相談などが増えて来客数が伸びる。そこから販売につながるケースも多く、売上にも貢献している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・消費税の引上げを見越してか、土地の動きが見え始めている。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・住宅販売業界において、消費税の引上げを視野に入れた土地の仕入れなど、先を見越した積極的投資が目立つようになっている。
		住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・悪天候にもかかわらず、来客数が安定している。
		商店街（代表者）	それ以外	・大雪のため、通行量が極端に少なかった。売上が伸びず厳しい状況であるが、必要な物は高くても買う考え方や、良い品を選んで買う傾向は引き続きみられる。プライダル関連商品や宝石類、ドレスなどは比較的好調であり、高級時計なども需要がある。しかし、一般消耗品は引き続き厳しい。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・官公庁の調達は少し増えているが、民間企業はシビアな様子で最低限の購入にとどまっている。
	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・2月はとにかく雪の影響が大きい。当地では災害レベルの大雪となり、社会生活に支障が出る日が何日も続いた。自宅を出るのが大変で、ふだんは2車線の道路が1車線通行となって通勤は大渋滞である。会社に着いても除雪作業で大変な状態であるのに、客の来店はない。一方で、物流が麻痺して、入荷も出荷もできない状況である。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・記録的な大雪による集客力ダウンとなったものの、節分やバレンタイン、物産展などで希少性の高い食品は好調である。一方で、婦人服は冬物クリアランスセールや春物セレモニー関連共に動きが鈍い。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・前年は競合店が閉店していたが、その影響がなくなって来客数が大きく減少している。	
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・2月は豪雪により商品の未入荷や来客数の減少があったが、来店客のまとめ買いによって売上は前年を超えた。ただし、一過性であり、景気動向で考えれば横ばいである。	

スーパー（総務担当）	単価の動き	・2月の豪雪のため、来客数が大幅に減少している。しかし、客単価は20～30%増加しているため、前年並みの売上を維持している。
スーパー（統括）	販売量の動き	・大雪の影響により来客数は減少しているが、まとめ買い傾向がみられる。販売量としては大きな変化がみられない。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は大雪特需の影響があり、来客数は大幅に減少しているものの、それを上回るだけの客単価の増加がみられた。今月に限ってみると売上は調子が良い。また、大雪が過ぎた後でも客単価の上振れ傾向は変わっていない。ただし、この傾向が来月も続くかという点、そこまでは期待できない。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価や来客数共に大きな変化はない。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年に比べて積雪が多い日もあったが、来客数は維持できている。
衣料品専門店（総括）	それ以外	・今月に関しては、異常気象のため判断できない。
乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・当地域では毎年2～3月が最需要期である。販売量が増える時期であり、引き続き景況感の良いと考える。ただし、大雪の影響によって受注の伸びが鈍化している。
自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・天候の影響により来客数が例年より減少している。さらに、自動車用品の販売単価が下がっており、景気の変化が感じられない。一方で、自動車販売は好調に推移している。選定理由も価格ではなく、ハイブリッド車などから安全支援車両を選ぶ客が増えている。
その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・節分を境に雪が激しくなり、当地は全国ニュースで報道されるような大変な大雪であった。当店が納品している取引先でも、雪の影響により開店休業の状態であった。当店も開店休業であった。2週間ほど、商売にならない日が続いた。
一般レストラン（統括）	来客数の動き	・大雪のため、居酒屋や夜の食事主体のレストランは、予約取消しや来店できないなどで散々な状況である。1,000円以下の客単価で昼食主体のレストランは、コンビニエンスストアに食品がなく、営業できないレストランが多いためか、前年同時期を大きく超える来客数があった。
観光型旅館（経営者）	それ以外	・2月6日から降り始めた記録的大雪により、2,300人分のキャンセルが発生した。また、新規の予約が入らないことや、設備面へのダメージなどで大きな被害となっている。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・大雪と寒波のため、宿泊や宴会、レストラン予約のキャンセルがあった。大雪というニュースによって北陸方面を避けているようであった。下旬にかけて盛り返しているものの、キャンセル分までは取り戻せていない。
タクシー運転手	来客数の動き	・ビジネス客の利用が相変わらず多い。また、今年は雪がとて多く足場が悪かったことから、タクシー利用が多かった。
通信会社（役員）	販売量の動き	・大雪によって月初の渉外活動は鈍り、契約獲得件数は低調であったものの、雪が一段落した後半は活動の勢いが戻っている。獲得件数も例年と変わらないまでに回復している。
美容室（経営者）	それ以外	・大雪のためほぼ1週間、経済活動がストップした状態である。15日ぐらいから平常な生活に戻ったが、売上減は取り戻せそうにはない。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・大雪の影響で来客数が大幅に減少し、売上も低迷している。後半は持ち直したが、前半のマイナスが大きく、月全体で前年実績を大幅に割り込んでいる。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・2月に入っても大雪と大寒波の影響で、来客数が大きく減少した。防寒目的の雑貨や商材の売上が良い。また、インバウンドによる売上が好調で、売上全体を押し上げている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・コンビニエンスストアの系列店の統合によって、新たに同系列店舗が増加している。転換店舗では売上が上昇しているが、既存店は軒並み売上減になっている。ブランドによる差別化によって適度な競合関係にあったところ、同系列店舗の増加によって自社競合が起きている。

	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・記録的な大雪により、一部で営業ができないほど大きなダメージを受けている。なかなか回復できない。	
	衣料品専門店 (店舗運営)	それ以外	・一部の店舗では、大雪の影響により営業時間短縮の影響がみられる。3か月前と比べて来客数の減少幅は小さいものの、必要最低限で済ませる購買傾向がみられるため、購入点数が伸び悩んでいる。	
	家電量販店(本部)	販売量の動き	・通常の積雪をはるかに超える豪雪により、販売量はかなり影響を受けている。さらに、修繕などの想定外の支出により、家電商品の購入優先順位が下がることを懸念している。	
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年であれば自動車販売業界の1番の繁忙期であるが、豪雪のため除雪作業に時間をとられたり、車の移動が制限されたりなど、10日間ほど業務に不具合が生じている。展示会などのイベントも中止せざるを得なくなり、販売量は前年の65%になっている。	
	その他小売 [ショッピング センター](統括)	それ以外	・例年以上の積雪の影響によって、来客数が前年を大幅に下回っている。改装に伴い売り尽くしセールを行った専門店や、積雪で需要が多かったタイヤ専門店、継続して好調のアミューズメント専門店以外は、前年をほぼ下回る厳しい状況である。そのなかでも、衣料品店とシネマは他業種よりも不振状態が続いている。	
	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・雪の影響でキャンセルが相次いだ。除雪が追い付かず、営業できない状態が続いた。また、知事選挙の影響もあり、人の動きが悪い。	
	旅行代理店(所長)	お客様の様子	・春休みの旅行商品の動きがみられず、比較の日並みの良いゴールデンウィークの間合せもほとんどない。	
	その他レジャー 施設[スポーツ クラブ](総支配人)	競争相手の様子	・競合施設が値下げを告知した後に、当店では新年度からの値上げとしているため、入会数が伸びていない状態である。	
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・大雪の影響により数日間休業した店が多い。従業員を何とか手配して、やっとの思いで開店しても、来客数がほとんどなく2週間ほど惨たんたる状況が続いた。天候が回復しても、この期間の売上減をカバーできそうにない。
	×	スーパー(店舗管理)	それ以外	・大雪により交通状況が混乱し、客足と物流が厳しい状態であったため、今回は比較できない。
	×	コンビニ(店舗管理)	それ以外	・豪雪のため、月の半分は交通が麻ひした状態であった。店舗営業もままならず、臨時休業や営業時間の短縮を余儀なくされた。当然、売上は低迷している。
	×	家電量販店(店長)	販売量の動き	・雪の影響により、2月の売上が伸びない。
	×	住関連専門店 (役員)	お客様の様子	・販売量の減少が著しい。これまでよりも購入までにつながる割合が低くなっている。
	×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・大雪による予約キャンセルなどが相次ぎ、例年比で75%の来客数である。
	×	スナック(経営者)	来客数の動き	・前月と同様に今月も天候に左右され、人の動きがない。開店休業が続き、前年同月の6割程度の売上となっている。開店以来最低の売上であり、赤字である。この期間は、他店でも早く閉店する日が多かった。
	×	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・2月は1月に続き大変な大雪で交通機関は麻ひし、大量のキャンセルが発生した。営業期間も2月の3分の1が実質的に開店休業の状態である。来客数もそれに連動した動きとなり、大変厳しい状況である。
企業 動向 関連 (北陸)	輸送業(配車担当)	取引先の様子	・工作機械などを中心に輸出関連業種の出荷が好調に推移している。	
	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・輸出関係の商品を中心に、受注が増加している。特に、スポーツやアパレル、アウトドア向け商品にその傾向が顕著であり、受注量は前期を上回っている。	
	一般機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・国内と欧米市場共に受注状況が良い。	
	建設業(役員)	受注量や販売量の動き	・工事発注量の増加で受注高が増加しており、受注環境は好転している。	
	不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・同業者からの情報では、少し動きが出てきているとのことだが、個人客からの問合せはまだ少ない。	
	食料品製造業 (経営企画)	受注量や販売量の動き	・コンビニエンスストア向けや、輸出向けなどの特定チャンネルは好調に推移している。一方で、苦戦中のチャンネルも多く、全体では横ばいの状況である。	

	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に受注状況は特に悪くない。特に、衣料においてはユニフォームやスポーツ、インナーなどの用途の受注が安定している。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況が順調に推移している。
	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・店頭商品では高価格帯が厳しくなっている状況に変わりはないが、全体としてはほぼ横ばいの状態が続いている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・2月に入って大雪となり、除雪作業の業務に社員総出となって取り組んでいる。これにより利益は見込めるものの、3か月前の年末繁忙期に比べると仕事不足は否めない。
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・酒類卸関係に聞くと、売上は前年並みで推移しているとのことである。
	税理士（所長）	取引先の様子	・今の景気状況を見ると、客によって非常にばらつきがある。企業の設備投資の需要は大きいので、工場の設備製造や設備に伴う工事業者は非常に仕事の引き合いが多いが、建設業など全体で見ると厳しい状況に見える。製造業においても、完成品製造は伸び悩んでいる様子である。卸小売業関係についても、個人の消費は大きく伸びていない。本来好調であるべき設備工事業についても、人手不足で仕事が十分に受けられないことから、なかなか事業が思うようには拡大しないというジレンマが多いと聞いている。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・2月前半の大雪により、工場稼働が一時縮小したことや物流が大幅に停滞したことがマイナス要因である。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・2月は1月以上の大雪の影響により、物流面だけでなく来客数にも影響が出ている。その結果、サービス業や小売業の売上が落ち込んでいる。特に飲食店は来客数が大幅に落ち込んでいるところが多く、当面の資金繰りを安定化させるためのニーズが高まっている。
	司法書士	取引先の様子	・豪雪の影響によって、10日間ほど経済活動がストップした。大きなイベントも全部中止になった。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)		-	-
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・求人広告は、2月に入って動きが悪かったものの、3月が近づいてからは申込件数が増えている。全般的に前年程度はあり、3月以降の見込みも悪くない。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前年同時期と比べて、ワンデーインターンシップの案内が増えている。求人票の出足も2割ほど増えており、求人数も全体的に増えている。
	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・派遣登録者数が全く伸びず、客の依頼に対応できない状況である。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・新規求職者数は依然として変わらない。また、フルタイム勤務ではなく、週末や休日の単発派遣希望者が多い傾向にある。
	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・求人広告は増加しており、相変わらず求人難は続いている様子である。流通業や住宅販売、自動車販売業種などでは、1～2月の大雪の影響によって売上が大幅減との声が圧倒的に多い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・駅前周辺では人手不足のため採用時における賃金は上がっているが、それ以外の地域では上がっていない。
	民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・求職登録希望者が少ない。求人サイトや情報誌に広告を増やしても、効果がみえない状況が続いている。
	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人の数が微妙に減っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が前年同月比、前月比共に減少している。また、特定の業種では継続して減少している。
	x	-	-